

EA776C
 (残留塩素計)
EA776C-10
EA776C-30
 (粉末試薬剤)



【仕様】
 ・測定範囲・・・遊離塩素 0.00～5.00mg/L (ppm)
 全塩素 不可

・検出単位・・・0.01mg/L(0.00～3.50ppm迄)、
 0.10mg/L(3.50ppm以上)
 ・精度・・・±0.02mg/L(濃度1.00ppm時)
 ・電源・・・9V電池1個
 ・電源オフ 10分の未使用で自動オフ
 ・サイズ・・・180×83×46mm
 ・重量・・・290g
 ・外部環境条件 0～50℃、相対湿度95%以下
 ・使用試薬(別売) 粉末式および液体式DPD試薬
 ・別売粉末試薬剤・・・EA776C-10(100回分)
 EA776C-30(300回分)

※未開封の場合、3年間保管可能です。(開封後は速やかにご使用下さい。)

・標準付属品・・・測定用セル2組、9Vモニター用電池、保証書
 粉末試薬(4回分)

※この商品で工業用水と水道水との見分けが出来ます

＜新タイプ用交換用セル、セルキャップ＞

* EB776C-31(セル)、EB776C-35(セルキャップ)

※各4個入、旧タイプには使用出来ません。

＜旧タイプ用交換用セル、セルキャップ＞

* EB776C-21(セル)、EB776C-25(セルキャップ)

※各4個入、新タイプには使用出来ません。

残留塩素(全塩素)とは？

水道水などの塩素消毒をした場合、その後もなお水中に存在する塩素のことです。この残留塩素は“遊離残留塩素”と“結合残留塩素”に分けられ、二つを併せて全塩素と呼びます。(全塩素＝遊離残留塩素＋結合残留塩素)

遊離残留塩素は殺菌力が強いのでこの遊離残留塩素濃度の測定が衛生管理上最も重要です。また結合残留塩素の殺菌力は遊離残留塩素の殺菌力の1/10程度しかないと言われています。

測定手順

測定したいサンプル水を付属のセルに入れ、一度計器に読み込ませ、その後試薬を添加したセルの読み取りを行うだけで完了です。

電源オン→サンプル水のゼロ設定→試薬添加→読取ボタン→測定値の表示

バリデーション&校正機構を内蔵

“バリデーター”を使用することで残留塩素濃度の“検証＝バリデーション”と本体の校正を行うことが可能です。

このバリデーターは残留塩素濃度0ppmと1.00ppmにおける本器の機能検証が可能です。

またこのバリデーターを使った“校正”を行うことも可能です。

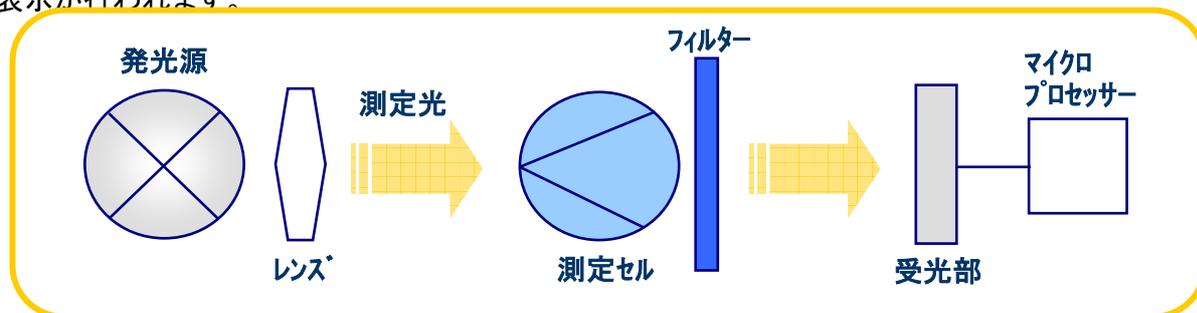
ISO、HACCP分野でのご利用には欠かせない機能です。

高精度な最新式“タングステン発光部”

新たに発光部には高い精度と抜群の安定性を持つ“タングステン”方式を採用いたしました。

従来のLEDに比べ外部からの悪環境(衝撃、湿気、汚れ)に対し大きく耐久性が向上しました。

また測定された残留塩素濃度は最新のマイクロプロセッサで処理され本体ディスプレイ部に直読式で表示が行われます。



【取扱い上の注意事項】

1. 測定用の試薬を絶対に飲み込まないでください。
2. 測定用の試薬には直接には手や皮膚を触れないようにしてください。測定の際には、ゴム手袋を着用してください。
3. お子様の手が届かない所に保管してください。